

1. 経営発達支援事業

* ●: 国の補助金(伴走型小規模事業者支援推進事業)

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|---------------------------|----------------------|--|--------|--------|-------|---------------------------------------|---|---|----|
| I 地域の 経済動向 調査 | ①「小規模企業景気動向調査」の実施 | ○対象:9業種9事業者(食料品、機械・金属)、建設業、小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)、サービス業(旅館、洗濯、理・美容) ○調査方法:毎月巡回による ○調査内容:対前年同月比として、「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析などを行う | 108回 | 108回 | A | 目標通り着実に実施されている。 | ○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ①森町商工会会員への周知 森町商工会ホームページへ毎月掲載 ②関係支援機関での情報共有 ●小規模事業総合支援会議の開催 ・開催日:28年10月12日 ・主催:森町商工会 ・出席者:町役場、金融機関、よろず支援拠点、ジェトロ浜松等11名 ・会議内容:管内景気動向、各支援策 ③商工会理事会での報告 ・開催日:28年6月13日 ・開催日:28年9月30日 28年12月22日 ・開催日:29年3月21日 | 【成果】 ・9業種9事業者の景気動向を把握するため管内の小規模事業者を訪問し、毎月の景気動向の聞き取りを行った。季節変動、円の為替動向、突発的な景気変動要素等を参考に業種別に把握した。 ・県内38商工会の調査結果を集計し、静岡県内の小規模事業者の景気動向を公表した。 【課題】 ・景況DIを評価基準とするため感覚的な判断となり、数的根拠との比較が難しい場合がある。 ・同業者間でも景況判断が異なる場合がある。38件を業種の分母としているため、判断が偏る場合がある。 | |
| | ②「森町の基幹産業 経済動向調査」の実施 | ○対象:製茶業、和洋菓子製造小売業 ○調査方法:巡回訪問 ○調査内容:「経営の振り返りシート」などを活用するなどもう一步踏み込んだ動向調査を収集し、整理・分析 | 60回 | 88回 | A | 目標を上回っており、今後製茶業及び菓子小売業の調査結果の活用が期待される。 | ○経済動向調査の実施内訳 ・製茶業:63回、菓子製造小売業:16回 ・経営支援ツールシート活用:9回(3社×3日) | 【成果】 ・当町の基幹産業である製茶業、菓子製造小売業につき巡回訪問時を活用しタイムリーに現況把握に努め、時節に応じた施策提案など活用につなげると共に今後の小規模企業施策の立案に向けた基礎資料となる。 ・経営支援ツールの活用から自社の経営を振り返り現在における優先課題の抽出につながり、その後の支援に結びつけた。 | |
| | ③商工会情報誌(商工通信)の発行 | 支援制度活用の潜在需要を掘り起し利用促進を図るため、情報誌を定期的に会員に提供 | | | | | ●商工会情報誌(商工通信)の発行 ・情報誌発行日:平成28年8月9日、11月22日 ・送付先:商工会会員:525事業者 ・情報提供手段:(ア)郵送(メール便)507、持参18 | 【成果】 ・会員の一部から問い合わせ等があり、制度の内容等について説明を行った。 ・今後も、引き続き経営指導員による巡回指導等の中で活用を促進していく。 | |
| II 経営分析・ 需要動向 調査 | ①小規模事業者への巡回訪問 | ○経営指導員等による巡回訪問 | 1,800件 | 1,491件 | B | 指導員一人当たりで見ただけの場合は目標をクリアしている。 | ○巡回訪問者:2名(経営指導員) | 【成果】 ・経営指導員が年間目標に基づく各月次の巡回計画表の設定目標に沿った巡回指導を実施した。ただし、結果的には目標達成には至らなかった。 | |
| | ②小規模事業者からの窓口相談 | ○経営指導員等による窓口相談 | 550件 | 474件 | B | 経営指導員以外の対応も推進すべきである。 | ○主な相談内容 経営一般、情報化、金融、税務・労務、取引 | 【成果】 ・経営指導員が事務所における相談内容毎に実績を把握し日々の業務(巡回指導)に活かした。 | |
| | ③小規模事業者の経営分析の実施 | ○経営分析の必要な小規模事業者を抽出し、他の支援機関とも連携しながら、財務諸表を元に経営分析を実施する。 | 13回 | 32回 | A | 目標を大幅に上回った。 | ○経営分析の実施 ・小規模事業者持続化補助金申請者述べ17名と日本政策金融公庫マル経資金借入相談者15名を対象に、現状における経営分析を実施した。 | 【成果】 ・通年分財務諸表を元に、経営経営分析を実施した。 ・その結果、小規模事業者持続化補助金では申請者の課題解決に向けての経営計画書作成につなげ今後の経営方針等策定につなげた。 ・マル経では、運転資金及び設備資金の調達につなげ現況の経営改善を図った。 | |
| | ④小規模事業者の需要動向調査の実施 | ○新分野への進出、展開を目指す小規模事業者に対して、需要動向を把握するなど整理・分析を実施する。 | 13件 | 9件 | C | 分析から次へのステップが望まれる。 | ○需要動向調査の実施 ・精肉加工業者・製茶業に対して、巡回訪問等の機会を通し、既存事業に係る需要動向調査を実施した。 | 【成果】 ・新規顧客開拓を進める上での現状分析・把握につなげたと共に持続化補助金などの施策活用につなげた。 | |

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|-------------------|------------------|---|-------|-----|-------|---|---|---|--|
| Ⅲ 事業計画の策定・実施支援 | ①「経営計画作成セミナー」の開催 | ○事業計画策定・各種補助金の活用を目指す小規模事業者の掘り起しを行うため、経営計画作成セミナー・個別相談会を開催する。 | 3回 | 3回 | A | 経営計画作成セミナーが予定通り実施され、個別相談、その後のフォローアップも目標を上回った。 | ●「経営革新セミナー」の開催 ・趣旨：小規模事業者持続化補助金の活用を図るため、磐田市・浅羽町商工会とともに事業計画作成セミナーを開催した。 ・開催日：28年10月19日、11月1日・15日の3日間(3回コース) ・会場：磐田市商工会館 ・主催：森町商工会 ・テーマ：「結果にコミットする経営計画作成講座」 ・講師：中小企業診断士 織野 大輔氏 ・受講者：14名 | 【成果】 ・中遠地域において、小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金申請等を目指す者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援が図れた。 ・受講者にとっては、自社に当てはめた具体的な経営計画書作成方法を学ぶことで、各種の補助金申請等に繋がられたと思われる。 | ○29年度計画 ・申請件数 20件 |
| | | ○事業の持続的な経営を目的とした事業計画の策定支援並びにその後のフォローアップを行う。 | 10名 | 14名 | A | | | | |
| | ②事業計画の策定・実施の支援 | ○事業計画の実施するための「小規模事業者経営発達支援融資制度」の利活用支援並びにその後のフォローアップを行う。 | — | 1件 | | 目標になかったが実績として評価できる。 | ○経営発達支援計画の認定を受けた当会会員に対し、持続的な発展を目的とした事業計画の実施のために必要な資金を斡旋。融資限度額 7,200万円(設備・運転資金可) 利率 特利A 雇用拡大される方 特利U | 【成果】 ・日本政策金融公庫 国民生活事業部との協調により申込案件の掘り起しに努めた結果、初めて1件対応を講じることができた。今後も、政策金融公庫との協調によりPR強化を図る。 | |
| | | ○販路開拓等に取り組む小規模事業者に対して、小規模事業者持続化補助金の利活用支援並びにその後のフォローアップを行う。 | — | 15件 | | 高い採択率でありきめ細かな支援の成果が出ている。 | 採択(29年3月 17日)：15件 | 【成果】 ・巡回指導等により当補助金の潜在需要の掘り起しに努め補助金申請へのきめ細かな支援を行った結果、15事業者が採択された(採択率88%)。今後も、施策の普及に努め事業者が作成した経営計画に基づく事業実施に係る支援を継続的に行っていく。まさに、伴走型の趣旨にふさわしい補助事業である。 | |
| Ⅳ 創業・経営革新支援 | ①創業支援 | ○創業希望者の掘り起し ①広報：新聞折込み 森町定期広報の活用 商工会ホームページ掲載 ②個別相談会の開催：毎月1回 ③窓口相談の実施 ③近隣商工団体が開催している創業塾との連携 | 8人 | 8人 | A | 目標通りの成果が得られた。 | ●創業支援個別相談会の開催 ○開催日 (ア) 平成28年 5月28日(土)：2名(これから創業しようとする者) (イ) 平成28年 7月23日(土)：2名(開業間もない者) (ウ) 平成28年 9月17日(土)：相談者なし (エ) 平成28年11月19日(土)：相談者なし (オ) 上記以外で、4名(開業間もない者1名、これから創業しようとする者3名)に対し個別支援を講じた。 ○主催：森町商工会 ○会場：森町商工会館 ○相談員：森町商工会職員 ○相談内容：記帳、税務、労働保険・雇用保険等 | 【成果】 ○相談成果相談者にとって、休日に対応する窓口は稀少であり利便性の評価が高く、開業に伴う各種届出、記帳の仕方、税務申告の仕方、労働保険・雇用保険の加入方法等の実務を丁寧にわかりやすく説明し、理解が得られたと思われる。 *これから創業しようとする者5名のうち2名は、本年中に創業を目指しているとのことであった。 | ●29年度計画 ・開催回数 3回 ・会場：森町商工会 ・主催：森町商工会 |
| | | ○創業後の支援 ・専門家による個別フォローアップ、 税務・労務・金融相談等 | 5人 | 0人 | E | 専門家のフォローアップ支援制度の周知が望まれる。 | | 【成果】 ・中遠地域において、現在創業を検討している者や創業間もない者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援が図れた。 ・受講者にとっても、創業に必要な基礎知識を取得するとともに、必要なビジネスプランの作成方法を具体的に学べる機会として、3日間という密度の濃い講座を受講したことで、起業・創業がより現実化したものと思われる。 | ●29年度計画 ・開催月(予定) 11月・12月 (3回コース) ・会場：磐田市内 ・主催：磐田市・森町・浅羽町商工会 |
| | | | | | | | | | |

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|-----------------------|--|---|-------|-----|-------|-------------------------------------|---|--|---|
| ②経営革新支援 | | ○経営革新チャレンジ企業の発掘 ・経営指導員等による巡回指導等 | 50件 | 45件 | B | 各種補助金制度の利用促進を契機に革新計画の掘り起しを進めるべきである。 | <p>○巡回指導の実施 ・経営指導員等による巡回指導の中で、経営革新計画の承認によるメリット等を説明し、候補事業者の掘り起しを行っている。</p> <p>●業種に合わせたセミナーの開催・個別相談の実施【工業分野】 ＜経営改善セミナーの開催＞ ・開催日時：平成28年11月11日（金）13:30～16:00 ・主催：森町商工会、共催：静岡県よろず支援拠点 ・会場：森町商工会館 ・テーマ：「ものづくり現場力向上実務セミナー」 （ア）「小さな企業でもできる 生産現場でのヒューマンエラー対策」 ・講師：静岡県よろず支援拠点コーディネーター 鈴木宣二氏 （イ）「静岡県工業技術研究所の取組紹介」 ・講師：静岡県工業技術研究所研究調整監 杉山直人氏 ・参加者：18名（商工会職員1名を含む） ＜個別相談（出張相談）の実施＞ ・実施日：平成28年8月26日（月） ・相談者：1事業者（鉄骨製造業）</p> | <p>【成果】 ・巡回指導等による候補者掘り起しの結果、5社が承認申請を具体的に検討することとなった。</p> <p>【成果】 ＜セミナー＞ ・小規模なものづくり企業を支援するため、現場力の向上に役立つ実務セミナーを開催した。受講した事業者は、森町外の事業者が1社のみで、他は全て森町内の事業者であった。 ・受講者は熱心に聴講し、アンケートでも講演アについて「参考になった」が約8割を占め、講演イについては約5割であった。テーマについては「良い」が約7割を占め、また内容については「理解できた」が約9割を占めた。 ・生産現場でのヒューマンエラー対策として、経験豊かな専門家による具体的事例の紹介と演習を取り入れた講演内容で、生産現場に携わる実務担当者にとっては非常に有意義なものであったと思われる。 ・また、今回、技術支援を行う専門機関である県内の工業技術研究所の研究員を初めて招聘したが、伴走型の観点から、商工会が小規模事業者と研究所との橋渡し役にも成り得る。 ＜個別相談＞ ・平成27年12月13日に開催した「ものづくりのための現場力向上・実務講座」を受講した当事業に対して、今回のセミナーと同様に講師を務めた鈴木宣二氏ともに現場に赴き、5Sの取組状況に係る改善等のアドバイスを行い経営改善に資することができた。</p> | <p>●29年度計画 ・開催月(予定) 10月 ・主催：森町商工会 ・会場：森町商工会</p> |
| | | ○経営革新計画承認申請の支援、承認後のフォローアップ | 7件 | 5件 | C | フォローアップ件数も実績に含めるべきである。 | ○承認件数：5件 | <p>【成果】 ・経営指導員による巡回や日頃の事業者との面会などをおし制度の普及を図り周知を行った。そうした日頃の付き合いから今年度は5件の掘り起しにつなげ、新たな事業化に向けての計画策定支援に結びつけた。平成26年度から連続して県内商工会経営指導員一人あたり件数で1位となった。</p> | |
| V 小規模事業者 販路開拓支援 | ①情報提供による販路開拓支援 ア 販路開拓支援のためのセミナー開催 | ○販路開拓支援のための啓発セミナーの開催 ①小規模事業者の認知度向上や新たな需要開拓を支援するためのセミナーの開催 ②森町の基幹産業である製茶業において、海外展開の可能性を検討してもらうための「海外向けセミナー」の開催 | | | | 会員事業者のニーズが強く今後も継続が望まれる。 | <p>●業種に合わせたセミナーの開催・個別相談の実施【商業・サービス業分野】 ＜販路拡大セミナーの開催＞ ・開催日：平成28年6月29日（水）14:00～16:00 ・主催：森町商工会、共催：静岡県よろず支援拠点 ・会場：森町商工会館 ・テーマ：「小さなお店でもできる コトPOP活用講座」 ・講師：静岡県よろず支援拠点コーディネーター 山堀圭太郎氏 ・参加者：35名（商工会職員2名を含む） ＜個別相談（出張相談）の実施＞ ・実施日：平成28年12月1日（木） ・相談者：5事業者（製茶・販売業2、食品製造販売業1、飲食業1、サービス業1）</p> | <p>【成果】 ＜セミナー＞ ・「小さなお店でもできるコトPOP活用講座」として受講者を20名募集した結果、予想を上回る36名が応募し、うち33名が受講し、関心の高さが際立った。 ・業種的にも、菓子・茶・酒など様々な小売商業・サービス業の小規模事業者が参加し、積極的にコトPOPを取り入れ、販売促進につなげていこうとする意欲が強く感じられた。 ・実際にPOPを作成できたことで、より実践的な内容になった。 ・受講者は熱心に聴講し、アンケートでも回答者のほぼ全員が「参考になった」、テーマも全員が「良い」と答えており、タイムリーな非常に有益なセミナーであったと考える。また、受講者の中で6名が個別相談を希望しており、伴走型の観点から、今後再度上記講師を招き、フォローアップを行っていく。 ＜個別相談＞ ・平成27年度に個別相談を受けた3事業者（平成28年2月26日実施）のフォローアップと、平成28年度個別相談を希望した2事業者を対象に、セミナー講師である山堀氏とともに各事業所を訪問し、約1時間ずつ実施した。商品のPR方法、顧客獲得方法、情報発信方法、来客者の分散方法、新事業展開方策など、各事業所が抱える固有の課題解決へのアドバイスを行った。その場でのアドバイスで、早速行動に移すケースも一部あった。</p> | <p>●29年度計画 ・開催：9月 ・会場：森町商工会 ・主催：森町商工会、よろず支援拠点</p> |

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|----|-------------------------|---|------------|------------|-------|-------------------------------------|---|---|----|
| | | | | | | | <p>○農商工連携セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時:平成29年3月22日(水) 14:00~16:00 ・会場:森町商工会 ・テーマ:売上・販路拡大につながる農商工連携 ・講師:静岡よろず支援拠点コーディネーター 山堀圭太郎氏 ・参加者:15名 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産者、製茶・販売業者、菓子製造販売業者、食品卸売業者、農協、金融機関など、農商工連携に関連する事業者が受講した。 ・受講者の関心度は高く、熱心に聴講し、アンケートでも回答者のほぼ全員が、「参考になった」、テーマ・講師も「良い」、「内容も理解できた。」と答えており、有益なセミナーであった。 ・受講者の中で3名(八幡屋茶舗、にんたま、スナック蘭)が個別相談を希望しており、今後よろず支援拠点と連携し、フォローアップを行っていく。 ・商工会としても、来年度組織的な枠組みを作り、支援体制を強化していく。 | |
| | | | | | | | <p>○「小さな企業を強くするブランドづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:28年9月5日、11月14日(2回) ・会場:森町商工会館 ・主催:森町商工会 ・講師:静岡県立大学岩崎邦彦教授 ・参加者:述べ62名 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者は幅広い業種からの参加をいただき関心の高さが伺えた。特に目立ったのは経営者のみならず従業員等の出席も伺えた。小規模事業者ならではの強みをどう活かすのか、対象を小規模事業者としたことがニーズに合致したと考える。受講者アンケートからも今回の企画等への評価が高く、内容も参考になったと多数が回答した。 | |
| | | | | | | 参加事業者に対する継続した支援が望まれる。 | <p>○「いわしん・とおとうみセクション〜「食」の個別相談会」開催状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査日:平成29年1月25日(水) ・会場:アクトシティ浜松 ・出展事業者:74事業者 うち森町5事業者 | <p>【成果】</p> <p>当相談会に参加した森町の5事業者のニーズや課題を把握することができたので、農商工連携や海外の販路開拓等に関する今後の事業展開に活かしていく。</p> | |
| | | | BtoC 2件 | BtoC 4件 | A | 静岡県商工会連合会との連携による販売機会の提供をより促進すべきである。 | <p>○県外・海外での物産展支援</p> <p>①「全国発酵食品サミット」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:28年11月12日~13日 ・会場:甲府駅北口「よちやばれ広場」 ・出展者:製茶業者1社 <p>②「マルイファミリー海老名『静岡うまいものまつり』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:29年1月19日~25日 ・会場:マルイファミリー海老名 ・出展者:製茶業者1社 <p>③「静岡お菓子フェア」催事出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間:平成28年4月29日~4月30日 ・場所:清水エスハルストリームプラザ ・出展者:中島屋菓子店 <p>④ハンガリー・ブタベストでの商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間:平成28年5月31日~6月1日 ・場所:ハンガリー・ブタベスト ・出展者:(株)石川園 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森町商工会は、販売促進応援事業として県外で開催される催事等へ出展した事業者の係る経費の一部を助成した。 ①静岡茶のPRと販売をしたが、大変好評であり、今後の販売展開に期待が持てた。 ②神奈川県初出展であったが、静岡茶のPRと新規顧客開拓につながるなど大変好評であり、今後の販売展開に期待が持てた。 ③県中部では認知度が高いイベントで、試食を通して販売も好調であった。県中部地域で製品をアピールできた感触を得た。 ④兵庫県の参加者から商談があり進行中である。参加者間の交流の機会としても有益である。 | |
| | イ 県内外での販売会・展示会への参画機会の創出 | <p>情報提供、出展支援</p> <p>①ものづくり企業における販路(受注)開拓への機会創出</p> <p>②自社で製造・卸・小売りを手掛けている和洋菓子製造小売業、製茶業、精肉加工業などオリジナル商品を扱っている小規模事業者を対象に、県内外の販売会・商談会などの情報を提供するとともに、出展を支援</p> | | | | | <p>○『ふるさとしずおかプロモーションフェア「しずおか アレモ/コレモストア」』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨:静岡県内の特産品を180日間限定で紹介するアンテナショップを開設、地域産品等の販路開拓を支援 ・開催期間:28年7月15日~29年2月29日 ・会場:静岡市内 ・主催:静岡県商工会連合会 ・出展者(森町):10店 八幡屋茶舗、菓子司中島屋、松浦製茶、石田茶店、おさだ製茶、太田茶店、田米陶房、レッカーランドフクカワ、花ぎょうざ、しんちゃん農園 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場は、静岡駅前の呉服町通りで人通りが多く、立地条件は良い。 ・当ストアでの買い物客は、27,000人に上り盛況であった。 ・森町からの一部出展者は、物品販売に加えて催事販売を積極的に実施するなど、森町の知名度・森町の特産品を県中部や東部の人に広くPRする良い機会につながった。 | |

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|----------------------|------|--|-------------------------------|---------------------------|-------|-----------------------|--|---|----|
| | | | BtoB 2件 | BtoB 4件 | A | 目標の2倍の成果を得た。 | <p>①「2016土壌・地下水環境展」 ・開催日：28年10月19日～21日 ・会場：東京ビックサイト ・出展者：オゾン装置製造業者1社</p> <p>②「メッセナゴヤ2016」 ・開催日：28年10月26日(水)～29日(土) ・会場：ポートメッセなごや ・出展者：機械部品製造業者1社</p> <p>③「スーパーマーケットトレードショー」 ・開催日：29年2月15日～17日 ・会場：東京ビッグサイト ・出展者：製茶業者1社</p> <p>④「Olympia Exhibition Centre」商談会 ・開催日：28年9月2日～8日 ・会場：ロンドン ・出展者：製茶業者1社</p> | <p>【成果】 ・森町商工会は、販売促進応援事業として出展経費の一部を助成した。</p> <p>①オゾン浄化法のPRにと出展。業界の主流はバイオ法であるためオゾンを活用しての浄化法に注目が集まった。今後の販路開拓に期待が持てた。</p> <p>②短納期や小ロットへの対応など強みをPR。来場者との名刺交換も約80枚に上った。会期後には3社から見積依頼があるなど今後の販路開拓に期待が持てた。</p> <p>③会期中の来場者に対し約800個の試飲を行い、交換した名刺は120枚に上るなど商品PRにつなげた。今後の販路開拓に期待が持てた。</p> <p>④静岡茶のPRと販売をしたが、大変好評であり、今後の販売展開に期待が持てた。</p> | |
| | | ○小商圈を経営主眼とする小規模事業者への森町産業祭への出展奨励 | 出店数 30店 テント数 30張 | 出店数 21店 テント数 30張 | C | 目標は下回ったがほぼ前年並みを確保できた。 | <p>○「もりもり2万人まつり&農協祭(森町合併60周年記念)」 ・実施日：28年11月20日(日) ・会場：森町文化会館およびお祭り広場 ・主催：森町産業祭実行委員会</p> | <p>【成果】 ・町内の特産品の紹介はもとより、工業関係者の製品等の紹介も行い、町内外へ商店・企業のPRができた。 ・過去に出店経験がない3会員が新規出店した。</p> <p>【課題】 ・意欲がある会員の出店を促すことができたが、出店取りやめの会員もおり、総出店件数は前年と同程度となった(平成27年：出店22件・テント30張)</p> | |
| | | ○当商工会が有する商標権「森の石松」の活用や当商工会ホームページなどを活用し、広告宣伝や販売促進を支援 | | | | 投稿写真数の増加が成果として出ている。 | <p>●森町商工会ホームページの充実 ・内容：「森町百景」など、コンテンツを充実し発信力を強化</p> | <p>【成果】 ・森町の見どころの投稿写真を掲載する「森町百景」の内容充実に努めた。 ・経営にITを活用するため、ワークショップ形式のセミナーを開催し、参加者から好評を得た。</p> <p>【課題】 商標権「森の石松」については、働き掛けを行ったものの成果が出なかった。</p> | |
| | | | <当商工会内検討会> 2回 | 1回 | C | | <p>○商工会工業部会の開催 ・開催日：平成28年9月5日 ・検討内容：展示会出展支援</p> | <p>【成果】 ・当会工業部会にて、会員事業所の展示会出展について支援をしていく旨を諮り了承を得た。</p> <p>【課題】 ・出展支援について、支援方法や展示会の特定など具体的な検討に至らなかった。</p> | |
| | | | <展示会打合せ会> 1回 | 0回 | E | 目標達成の努力が求められる。 | <p>○近隣市町展示会の調査 ・ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu ・いわた産業振興フェア ・メッセナゴヤ2016 ・湖西テクノフェア ・浜名チャレンジマッチングフェア</p> | <p>【成果】 ・当会近隣市町で開催されている展示会について、開催時期・出店規模等について確認・把握した。</p> <p>【課題】 ・出展支援可能な範囲の展示会を把握することができたが、支援方法等の確立まで至らなかった。</p> | |
| ②近隣商工団体との連携による販路開拓支援 | | ○ものづくり企業において、近隣商工団体が主催する展示会との連携し、認知度の向上並びに技術力のアピール、併せて販路(受注)開拓の機会を創出 | <バイヤー等来場者数> 2,000人 調査検討 | 0人 | E | | <p>○近隣市町展示会の視察 ・ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu ・いわた産業振興フェア ・メッセナゴヤ2016</p> | <p>【成果】 ・当会近隣市町で開催されている展示会について、視察を行い出展者・主催者等から聞き取りを行った。</p> <p>【課題】 ・出展者・来場者層及び出展方法等について把握することができたが、支援方法等の確立まで至らなかった。</p> | |

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|----|------|------|---------------------|----|-------|------------|--|---|----|
| | | | <他団体主催出展回数> 1回 | 1回 | A | 目標をクリアできた。 | <p>○いわた産業振興フェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:28年11月12日~13日 ・主催:いわた産業振興フェア実行委員会 ・展示ブース:179社 (森町から3社出展) | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3社ともに具体的な商談には至らなかったものの、所期の目的である企業PRについては、名刺交換を30社以上を行うなど一定の成果があった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、森町から3事業所が出展しているが、町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。 | |
| | | | <他団体主催出展支援件数> 2件 | 6件 | A | | <p>○「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」ホームページ「企業情報データベース」(6次産業化)の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日:平成29年3月30日 ・登録事業者:森町6事業者 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当商工会員に対し、企業情報データベース掲載の募集を行い6事業者から応募があり、掲載することができた。 | |

| 項目 | 実施事業 | 事業内容 | 本年度目標 | 実績 | 目標達成度 | 外部評価 | 実績の内訳 | 自己評価 | 備考 |
|----------------------|--------------------------|--|------------------------------------|------------------------------------|-------|-----------------------|--|--|---|
| 2. 地域の活性化に資する取り組み | | | | | | | | | |
| I 地域 活性化 事業 | ①「森町の商工業を元気にするプロジェクト」の推進 | ○課題点の調査(H27年度) ・観光訪問者への顧客満足度アンケート調査の実施 ・旅行代理店、観光関係事業者の招聘、意見交換会の開催 | 検証・分析 解決策検討 プロジェクト実施回数 5回 | 検証・分析 解決策検討 プロジェクト実施回数 5回 | A | 目標をクリアできた。 | ①特産品等のPR ・PR先:「関西地区ふじのくに交流会」(主催:静岡県) ・実施日・会場:平成29年2月8日(水)梅田スカイビル(大阪市) ・PR内容:特産品(次郎柿ワイン試飲)、ふるさと納税・観光案内パンフ(配架) ②観光事業者等からの聞き取り調査 ・調査項目:「森町の観光の現状と誘客への課題」 ・調査日:平成28年10月～平成29年2月) ・聞き取り事業者:4事業者 *もう1事業者は平成27年度に実施 ・調査結果報告:平成29年3月21日(火)商工会理事会 | 【成果】 ・企業経営者やマスコミ関係者など、関西圏で活躍している県ゆかりの方々約200名に対し、特産品や観光等の情報を伝えることができた。 ・観光施設、鉄道事業者、旅行代理店、地元情報誌発行者など、観光事業者及び同関係者から意見・要望を聞くことができたので、この調査結果を基に連携の可能性及事業化を検討していく。 | |
| | ② 婚活事業の推進 | ○婚活事業“ええら!!森婚”開催 ・開催日:平成29年2月11日(土) ・会場:体験の里 アクティ森 ・主催:森町商工会青年部 ・後援:森町 | 1回 男女計 64名 | 1回 男女計 50名 | A | 結果を把握できる仕組みを検討すべきである。 | ○告知方法 A4のチラシ4000枚、ポスター100枚を森町管内、中遠地区商工会(磐田市・浅羽町)エリアに配布しPRした。 また、地元情報誌等(ひかりあべにゆう、ナチュラル)への掲載、磐田・袋井でのポスティングを実施した。 ○募集方法 ・申込用紙のFAX・持参だけでなく、QRコードを使用したメールによる申し込みも受け付ける方法を取った。 ○参加者 男性36名・女28名 計64名 ○カップル誕生 5組 | 【成果】 ・森町商工会青年部としては、3回目の開催となる。継続して実施していることで定着させることができた。 ・実施後のアンケート調査でも概ね好評で、継続開催を望む声も複数あった。 ・昨年度は参加者数も多く、1対1のトークタイムに時間が掛かり短時間でのトークタイムを望む意見が複数あった。そのため、本年度はグループトークとし、より話しやすい環境を整えた。 ・参加者64名に対して5組のカップルが成立した。 【課題】 ・グループトークに対して一定の評価を得ることができたが、全員と話す機会がなかったとの意見もあった。 ・成立したカップルの追跡(婚姻)は難しい。 ・昨年度は参加費用を男性6,000円、女性3,000円として設定したが、女性側から高いという意見があった。そのため、本年度は男性7,000円、女性2,000円とした。昨年度より意見は少なかったが、男性側から高いとの意見があった。 | ●29年度計画 ①森町商工会単独 ・開催月:2月予定 ②3商工会合同 ・開催月:11月予定 |
| | | ○中遠支部合同婚活事業“ASB婚活総選挙”開催 ・開催日:平成28年12月10日(土) ・会場:どんどこあさば陽だまりレストラン ・主催:中遠支部商工会青年部 | 1回 男女計 39名 | | | | ○告知方法 浅羽町商工会が主幹となり、中遠支部商工管内へチラシ・ポスターの配付・掲載をした。 ○募集方法 ・申込用紙のFAX・持参による受け付け方法とした。 ○参加者 男性21名・女18名 計39名 ○カップル誕生 14組 | 【成果】 ・本年度は浅羽町商工会が主幹となり実施したが、昨年度森町主幹の経験を活かすことができた。 ・参加人数は定数に若干足りなかったが、14組のカップルが成立した。 ・参加者に対して事前にプロフィール冊子を配布したことが好評だった。 【課題】 ・男性が女性に告白する形式としたため、恥ずかしい、断りにくいとの意見が多かった。 ・成立したカップルの追跡(婚姻)は難しい。 | |